

2013年2月18日

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、エアバス A320 シャークレット導入

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下ジェットスター・ジャパン)は、本日、空力性能および燃費性能を改善する翼端の「シャークレット」を装備したエアバス A320 を日本の航空会社としては初めて受領することをお知らせいたします。なお、受領は本日 23 時(日本時間)フランスのトゥールーズにて行われ、成田国際空港に 2 月 22 日(金)に到着する予定です。

シャークレットはエアバス社が開発した新型の翼端です。軽量の複合材で作られたシャークレットは従来のウイングチップ・フェンスに替わるもので、長さが約 2.4 メートルあり、空力性能を向上させることによって燃料消費と排気量を削減します。また、燃料コストを約 4%節減できるだけでなく、航続距離を約 185 キロ延ばします。ジェットスター・ジャパンは 2012 年 6 月にリース契約を締結済みのエアバス A320 新造機 24 機のうち、2013 年 4 月以降に納入される 14 機に関しても、空力性能および燃費性能、環境への配慮の観点からシャークレット装備機とする予定です。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。
「最新のエアバス A320 シャークレット装備機を日本で初めて導入できることを大変嬉しく思います。ジェットスターグループは効率化のために最新技術・機材等の導入をグループ全体で推進しています。ジェットスター・ジャパンによる同機材の導入もその一環です。今後も更なる効率化に注力することにより低運賃及びより多くの選択肢を提供し、日本における LCC の普及推進に努めたいと思います。」



<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているLCCです。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,060万人超のお客様にご利用頂きました。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航を開始したLCCであり、2013年3月より名古屋と大分、2013年5月より鹿児島にも就航を予定しています。国内線就航時には、A320型新造機3機(180席)で運航を開始しており、2014年末までに24機まで増強する予定です。また、2013年には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。